

令和5年度オンライン学習会

具体的な計画を つくるには？

～助成事業実施団体の経験の語りから～

12/7 木 14:00～16:35

オンライン開催 (Zoomウェビナー)

独立行政法人福祉医療機構 主催

タイムスケジュール

14:00 開会

14:05 はじめに（開催趣旨・WAM助成について等）

14:15 **パート1 『具体的な計画をつくるために必要な準備とは？』**

視点共有 喜田 亮子 さん (一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィス)

事例紹介 生駒 知里 さん (NPO法人 多様な学びプロジェクト)

ファシリテーターと登壇者との対話

(15分休憩)

15:20 **パート2 『活動の経験を次の計画づくりや事業展開に活かすには？』**

視点共有 永田 賢介 さん (認定NPO法人 アカツキ)

事例紹介 松山 由美子 さん (NPO法人 はっぴいmama応援団)

ファシリテーターと登壇者との対話

16:10 質疑応答

16:30 おわりに

16:35 閉会

参加にあたっての連絡事項

1. 登壇者資料について

→チャットのURLのリンク先から各自ダウンロードをお願いします。

2. 質問について

→Zoomウェビナーで視聴されている方は【Q&A機能】を使ってご質問ください。

3. チャット機能について

→WAMの業務連絡に使用します。

※登壇者への質問は【Q&A機能】を使って行ってください。

4. 接続不良が生じた場合

→同じURLから参加可能です。接続等のエラーに備え、WAM助成HPに掲載したYouTubeのリンクから「リアルタイム配信」を視聴可能です。

5. アンケートのお願い

→アンケートにより、「感想」や「登壇者へのメッセージ」などをお送りください。（※回答は登壇者にも共有します）

はじめに

1. 開催趣旨

2. 「具体的な計画」とは？

3. 登壇団体 & WAM助成プログラム紹介

独立行政法人福祉医療機構

NPOリソースセンター 渡真利 紘一

1. 開催趣旨

多くの助成プログラムにおいて「事業の計画性」は審査の基準となっています。申請書を記載する際、計画の「具体性」・「妥当性」・「実現可能性」など、様々な視点を踏まえ、内容を具体化する必要があります。こうした「具体的な計画」はどのようにつくのでしょうか。
また、「具体的な計画」とは、何を具体化することを指すのでしょうか。

本学習会では、助成事業実施団体の経験をもとに、

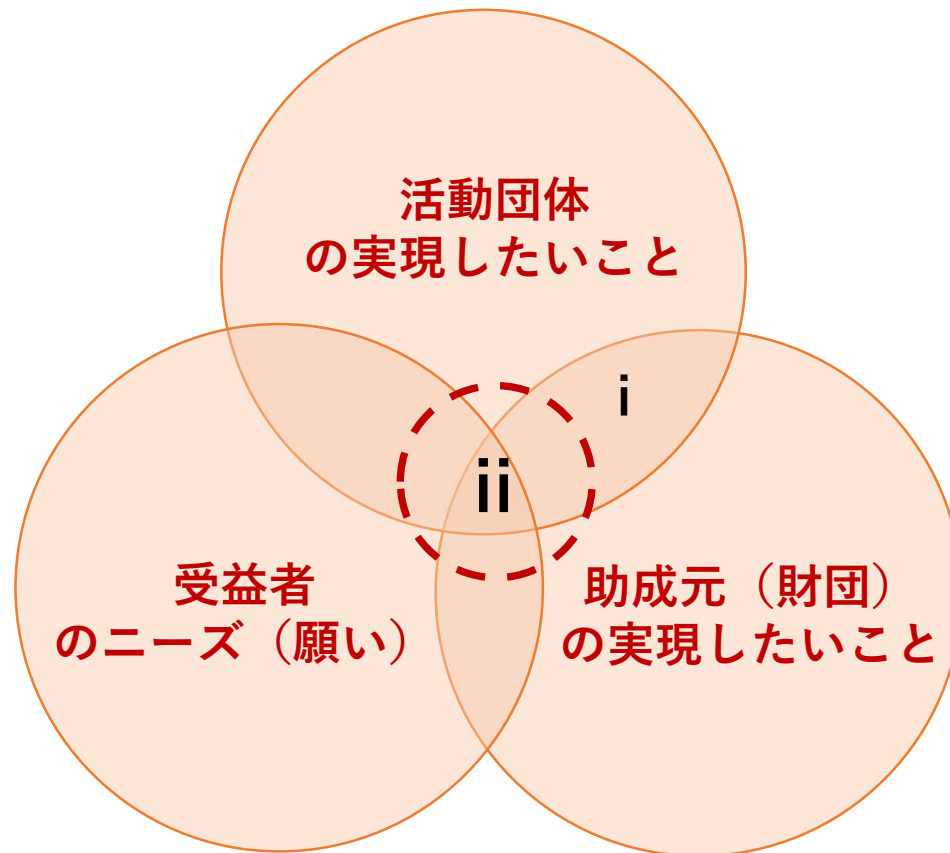
「**具体的な計画をつくるために必要な準備（パート1）**」や、

「**活動の経験を次の計画づくりや事業展開に活かす方策（パート2）**」

について考えます。

学習会企画の背景（助成金申請における考え方）

- ➡ 「活動団体の実現したいこと」と「助成元の実現したいこと」を踏まえただけの計画は「i」。
受益者のニーズを捉えた「ii」の計画を目指すには？



学習会の参加動機とねらい

(申込時：参加動機を選択肢より)

- ✓ 「具体的な計画」とは何を具体化することなのかを理解したい
- ✓ 「具体的な計画をつくるために必要な準備」とは何か把握したい
- ✓ 「これまでの活動・経験」を次の計画づくりに活かすヒントを得たい
- ✓ 「受益者ニーズ」を踏まえた事業計画の立て方を知りたい

皆さまの動機に少しでも参考になれば幸いです。

申し込まいただいた方々の声

(※一部抜粋要約しています)

➡様々な声をいただいております。

- どこからどう計画したらよいか
- どんな準備をどれくらいの期間をかけて、どのような方たちと話し合っ
て計画を立てるのがよいだらう・・・
- 限られた体制でいかにやりたいことをやれる計画をつくるか
- 不確定要素の多い問題に対して、計画にどこまで具体性を持たせるか？
- 目的意識の共有の難しさがある・・・[R3学習会](#)も参照
- 持続可能な計画づくりのコツとは？・・・[R4学習会](#)も参照

2. 「具体的な計画」とは？

さて、「具体的な計画」とは何を具体化することを指すのでしょうか？

- 実施する事業の中身？
- 必要経費？
- 受益者ニーズ？
- 成果？・・・e.t.c.

➡その答えは一つではありません

具体的な計画とは？

➡ 事業計画・資金計画・目標が具体的であること？

事業計画の具体化の視点<6W2H>

①Whenいつ	いつからいつまで？いつまでに？
②Whereどこで	活動の拠点は広く全国に？それとも地域に密着して？
③Who誰が	団体のほかに、協働する相手はあるか？
④Whom誰に	対象者は？受益者は？
⑤What何を	何をするのか？どんな支援/サービスを提供するのか？
⑥Why何のために	何のために取り組むのか？最終的にどのような状態になればよいのか？どうなりたいのか？
⑦Howどのように	Whyを達成するための具体的な方法は？
⑧How muchどのくらい	何人に？頻度は？何割ほど？どの範囲まで？

具体的な計画とは？

➡ 検証の視点をもって具体化すること？

事業計画の検証の視点

整合性

計画した事業に矛盾がないかどうか

【ポイント】

- ・ 事業計画を実施することで目的に到達するものか？
- ・ 事業計画に定めた内容と資金計画が矛盾していないか？

実現性

(Can)

計画した事業が本当に実現可能かどうか

【ポイント】

- ・ 複数ある事業の中で優先順位が整理され、最低限やるべきことが明確になっているか？
- ・ これまでの実績や体制から実現可能と見当がつく程度か？

実効性

(Needs)

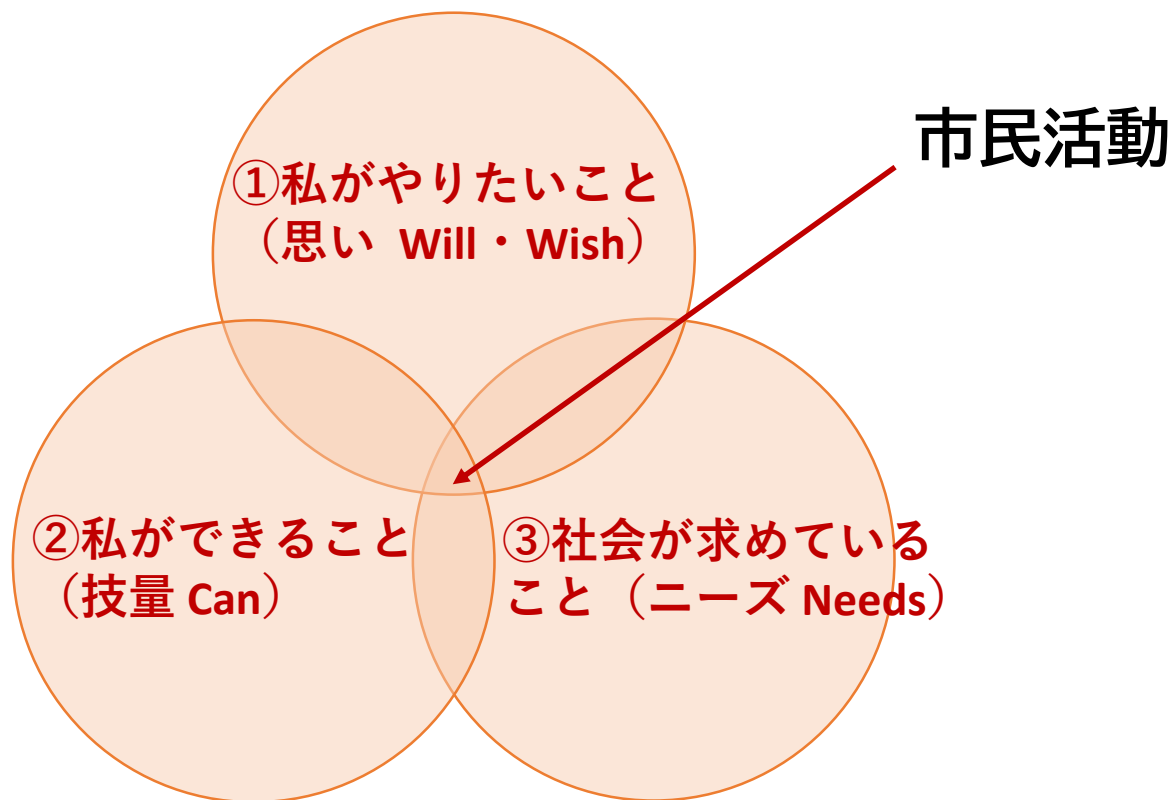
計画した事業が効果的かどうか

【ポイント】

- ・ 事業計画が支援対象者・受益者にとって有用なものか？
- ・ 事業実施方法が支援対象者・受益者に最適なものか？
- ・ より効果的なアプローチはないか？

(参考) 「市民活動」の領域

➡ WillだけでなくCanとNeedsが大切なのは
「市民活動」も「助成金申請」も同じ



具体的な計画とは？

➡助成金申請書や計画書の項目の結びつきを説明すること？

Aさん「この事業は〇〇というニーズを満たし、
〇〇という目標を目指す計画です」
Bさん「その心は？」・・・結びつきの深掘り

- ・ 地域・社会の課題
- ・ 事業の対象者や関係者のニーズ
(Needs)

上記の課題等に
団体が取り組む理由
(実績・既存制度や他団
体の状況)
(Needs)

具体的な事業内容 (Can)

- ・ 目的・内容
- ・ 時期・場所
- ・ 概算予算
- ・ 実施回数
- ・ 対象層・人数

運営体制 (内部)
連携体制 (外部)
(Can)

課題やニーズに対す
る今回実施する事業
の目標 (成果)
(Needs)

- ・ 事業終了後の展望
- ・ 事業継続の体制
(Can)

(参考) 令和5年度WAM助成要望書の項目

「具体的な計画」とは？

そして・・・

「具体的な計画」を、つくるには
どうしたらいいのでしょうか？

登壇団体の紹介

●パート1

特定非営利活動法人 多様な学びプロジェクト（神奈川県）

『全国的・広域的ネットワーク活動支援事業』として採択

[WAM助成実績]

2023年度 不登校家庭の支え手人材育成と地域ネットワーク構築事業

2020年度 街に多様な学びと多世代交流の場を創る多様な学びプロジェクト
(前身団体「FUTURE DESIGN」で実施)

●パート2

特定非営利活動法人 はっぴいmama応援団（新潟県）

『地域連携活動支援事業』として採択

[WAM助成実績]

2020年度 医師・助産師・カウンセラー等専門家による妊娠期からの虐待防止事業

2019年度 専門職が行政・医療・民間企業と連携し、妊娠期から切れ目なく包括的に支援する事業 e.t.c.

WAM助成のメニュー

(※対象・要件等については「募集要領」を必ずご確認ください)

応募団体が自ら主催し、他の団体と相互に連携して以下いずれかの事業を実施する事業

地域連携活動支援事業

地域の多様な社会資源を活用し、複数の団体が連携やネットワーク化を図り、社会福祉諸制度の対象外のニーズ、その他地域の様々な福祉ニーズに対応した地域に密着した事業（同一都道府県内）

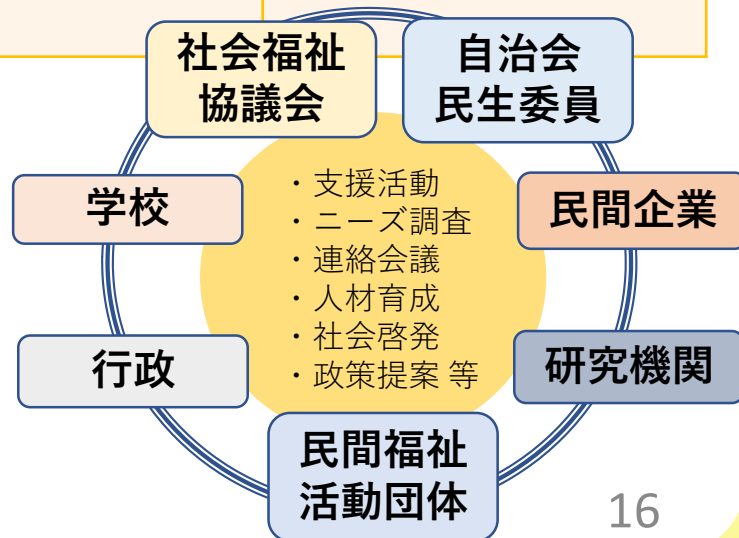
<助成金額>
50万円～700万円

全国的・広域的ネットワーク活動支援事業

全国又は広域的な普及・充実等を図るため、複数の団体が連携やネットワーク化を図り、相互にノウハウを共有し、社会福祉の振興に資する創意工夫ある事業又は社会福祉施策等を補完若しくは充実させる事業（2都道府県以上をまたぐ）

<助成金額>
50万円～
2,000万円

- ✓ 営利を目的としない団体が対象
- ✓ 助成総額 約6億円（約150団体）
- ✓ 事業の立ち上げ期や既存事業の拡充に活用できる
- ✓ 地域社会に「参加」と「協力」の輪をつくり広げる活動を推進



WAM助成（社会福祉振興助成事業）の紹介

WAM 助成は、政策動向や国民ニーズを踏まえ、民間の創意工夫ある活動や地域に密着したきめ細やかな活動等に対して助成を行い、高齢者・障害者等が自立した生活を送り、また、こどもたちが健やかに安心して成長できる地域共生社会の実現に向けて必要な支援を行う助成制度。
(=福祉制度のはざまの課題に対応)



社協と連携した長期ひきこもり状態にある者と家族の居場所事業



外国ルーツの方と住民の交流促進事業



アレルギーがあり地域の居場所にいけない親子のための居場所づくり

WAM助成（社会福祉振興助成事業）の紹介

例年の応募期間：12月下旬～1月下旬

詳細は・・・WAM助成ホームページをご覧ください。

<https://www.wam.go.jp/hp/cat/wamjosei/>

WAM助成（社会福祉振興助成事業）に関するお問い合わせ

- NPOリソースセンター NPO支援課
（助成事業の相談・募集に関する問合せ）
Tel: 03-3438-4756
- NPOリソースセンター NPO振興課
（助成事業の広報、完了・評価に関する問合せ）
Tel: 03-3438-9942

問合せフォーム



学習会に関する補足



- 今回の経験の語りはあくまで一団体による事業計画づくりの一例です。
- 皆さまが取り組んでいる分野や活動段階によって最適な方法は異なる場合があります。
- 自団体の方法を検討するための参考として受け取っていただければ幸いです。
- なお、本学習会への参加状況や参考の度合いがWAM助成の採否に影響することはありません。

<パート1>

『具体的な計画をつくるために必要な準備とは？』

15:20 視点共有 喜田 亮子 さん

(一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィス)

事例紹介 生駒 知里 さん

(特定非営利活動法人 多様な学びプロジェクト)

ファシリテーターと登壇者との対話

※Zoomウェビナーでご覧の方は、
Q&A機能にてご質問いただけます。